

令和6年能登半島地震への義援金の贈呈について

令和6年2月8日

一般社団法人日本電気協会は、令和6年2月7日、能登半島地震災害義援金として、100万円を日本赤十字社へ寄付しました。

同日、本会を代表して中島豊常務理事が、東京都港区の日本赤十字社を訪れ、日本赤十字社 事業局 パートナーシップ推進部 高橋 満徳 次長に目録を贈呈。

中島常務理事は、「一日も早い復興、復旧を祈っています。少しでも被災地の皆さまのお役に立てればと願っております。」と述べました。

高橋次長は、「日本赤十字社の支部を通じて、いただいた義援金を被災地へ届けたい。」と述べました。



義援金目録を贈呈する中島常務理事（右）と高橋次長（左）

以上

※この贈呈については、電気新聞、会員の皆さまへ送付の協会報へ掲載のほか、日本電気協会 X（旧 Twitter） https://twitter.com/official_jeaPR でもご覧いただけます。